





# 南米発展策

玄波生

帝国に海外発展策も無き今日其南米に對する一定の策ある筈なれば吾人は茲に繰返して其策の急を叫び識者の活動と希望するものあり。

南米諸國の真相を能く理解し居る日本は其先き一定の對策を構ふるに先き立ち猶ほ深く研究を要すべしものにて尙も海外遠距離の地なるが故に之を研究には多くの時日を要するものなれば一日も早く其研究に着手せられん事を切望せざるを得ず。

今南米に對する發展策の確立を希望するに於ては吾人は精細なる調査研究を求め其調査研究に至りても從來と趣きを異にたる完全なる委員を設けて其任務に當らしむ可き方法に依る事を望み其委員は廣く官民合同にて適任者を撰び組織したるものに依らざる可からず。即ち内務外務農商務大藏省の各代表的委員に銀行業者一般實業家の代表的委員並に政治家學者等も参加したる立派なる國民の代表とする委員に依り調査研究せられん事を望むものあり。併して其委員は各國に就き調査したる後相互に研究協議して策を定むべきものとす。例は移民の事に關し若し政府側の委員は是とするとせば學者政治家に就き其可否を糾し合應々有利有損なりとせば其方法に就き實業家銀行家の具體的考察を求めて決議せしめ其決議したる事は必ず実行すべく斯の如き方法に依り恰も參謀本部陸軍の行動を定むる如く

同策を造り適當の手段を定めて進行せば其結果良しきや言を俟たざるあり。又商業に就き發展せしめんと定めたりとせば從來の如く已たる報告に満足せず各事業に就き専門家の研究を望んで後決議せらるるものあり愈々可と定めたる時は其事業の實業出來る様方法を構はて之に着手するに在り。例は亞國南岸の未開地を開闢し亞國の進歩に助力する事とせば是とせば海峽を進行し同時に南洋航路を増進する爲め新に紅海社會を組織して交通の便と多くする事と定め必要なる資金金は日本銀行より之を支援す等獨りが南米諸國に實行し居る凡に効ふに非ざれば既に遲き今日に至りては近き將來に見るべき發展を致す事不可能と云ふを得べし。持て注意を要するは從來の調査は常に自己の利益をのみ以て研究せられ居るものあり故に之を改め一國に向ふ日本人の發展と計らんとせば其目的の利益と計る目的と主として研究する意思に依るべきものに非ざれば結果不良なる可きのみならず研究調査の單に物質的に止ら

ズ。社會的即ち目的地的の事をも能く研究して其事業に及ぼす影響等をも思慮すべきもの也。

## 最近電報

### 東京に於けるサン三少佐の講演

廿八日倫敦來電によれば昨今日本海軍陸軍飛行隊ハ世界一團飛行を計畫して居るが亞國飛行隊サン三少佐が日本軍隊の飛行當局を助けて之れが準備のため活動して居る。尚ほサン三少佐は帝國飛行協會の求めに應じて講演會を開いたが多數の日本陸軍海軍の首腦者全國飛行團體関係者并にサン三少佐の講演は印刷物となりて廣く配布された。因に少佐は廿九日西貢海軍大坂に飛行し同地で講演する事にあつて居る。

### 盧永詳上海を占領す

廿九日上海電に依れば上海市は目下一萬人より成る盧永詳の軍隊の占領す。

### 川村元帥逝去

廿八日東京電に依れば日露戰爭當時鴨綠江軍の司令官であつた川村元帥は逝去された。中村覺大將の計

廿九日東京電の傳はる如くよれは旅順攻撃當時の司令官中村覺大將は死

送金相場  
郵便百圓三付  
八九十六ペソ  
廿日現在

### 自働車運轉手

#### 協會ピクニック

#### キルメス河畔の情味

去る廿九日木曜日は朝方より曇り勝ちなりしが集合地に集りし頃には本降りとなりて條々つがが如かき雨にまじりて陸統として果てしなくの自働車三三教台か！今や雨天晴天の両題は去り行先キルメス河畔の情味夢枕見えて四十キロの肉蔬菜岩を準備せる自働車来りてより共先を急ぐ内外男女小供嬉々として街道を巡る様、五ルムに歩み途止みみ太陽雲間を笑ひ出したり頃は早や河畔に到着しきしなり、雨後の河畔の微風涼爽をキルメスの里是れ今日のピクニックを祝福するが如く見受けられは直ちに亞國名物アサリに着行小供婦女等は天女の如く樹間に屋下に恰かも小鳥の律るが如くあやなす嬉し、十二時昼食の時已に集合せる自働車四十台日本人男女小供百名亞國小供男美人花約五十名、屋下の食卓に恰かも家族の如く馬食する様他かかる名畫あるを知らず食事終りて野外のバイル内外男女同行は水野に咲く花あらば手折らん計りの野菊の姿も河畔の涼風

に映りて香リパンパの情緒を忍ばしむ

三時より運動会に轉り先づ車廻しに初まり、同協會橋本の繩

面自し、最後の三百メートル競走は自働車主に依り行はれ、横山

俊士、五百メートルは、原田靜雄氏の手に掃せし、其の有様、後々の話の種なるとは

いとすもあか。其他諸種の競技あり最後に宝探あり

て、富崎、有水氏等の奇蹟に係る種々雑多の賞品は吾等

ピクニック團は言ふに及ばず他のピクニック團を以て喜ばしめ時

らぬ平和の笑を以て倒腹せしめ、自働車協會唯一の誇り

なりしなり。

斯くも日蓮の男女が一家族の如く相和し喜や、来しませ分合しと

クニックに日本官吏の姿見えたりは天の岩戸の女神とラプラタ河

畔に、其の用無き想はしめ暮暮キルメスの里に、夜の幕を飾らんとする時、共に各自働車に乗

りて、河畔の冷風に惜しきガソリンの黒煙を、残したる同團のピクニックは、実成功に終りしと書くや、いと満足なり。

名酒月桂冠教拾打を取  
り寄せましたから御来上御  
賞鑑の程を願ひます  
各位 二三四 菊水

### 聞くも麗はしき

#### 今日の催し

夕キシー所有主組合の催しにける可憐な孤

児慰安の爲に行はる、盛夏の市街散策

邦人自働車所有主も二十教台を自発的に提

供すと。

夜に夜なる香の在る中で孤児程深刻なる心の悲哀を有す

る春はあまた、其の孤児千数百の子供の罪なき哀れを慰めんと

前記組合にては、午後三時より六時迄三時同市街の清遊地を

各自の自働車に乘せて慰籍せんとは市内新聞紙で已に発表

されたり、日本人自働車協會にて其の拳に賛し、茲に自発的に

二十教台の自働車を提供して共々に孤児を慰めんとせらる由

其拳たるや、余り世人の注意を引かぬ様であるが、他面には

非常な美拳として永久に残るだらう。今百合前後の日本人の自働車ある中で二十教台提供するは、其の拳に深い同情を寄せり水たからであるが吾人は茲に自働車協會及び運轉手諸氏に希望し、且つ此度の拳を賛美した。

抑、斯く美拳否社会奉仕的催しは、今後と強き度々奉行せらるべし、然る時諸氏の

義心は必ず其の拳に賛同せらる事は疑いの余地がな。

併し諸氏は斯る催しに宛名宛に或は日本人であるが故に、殊更に麗々として行動に出で、戴きたくない。然らずんば折角諸氏の義心も及面の結果を来すか計らぬ。

例を挙げて申せば日本人の自働車なるが故に、夫等孤児に日本人の心を知らしめ、人の為の車頭、日本國旗を立たりたり、或は日蓮兩國旗を交交したりするが如きは、大に謹慎して戴かぬはならぬ、諸氏は例へば、國旗を飾らんとす吾人の願そのものが己に國旗を代表して居る。

若し車頭を飾る必要あるは、單一國旗を充分である、是れ吾人が如何に吾人の住む國國旗を愛するかの表現であつて、其の國旗の許に吾等は和氣調を以て安住して居るからである、即ち諸氏の美拳は、某國公使のプラサホテルで、當國高官を御馳走するより、より以上の意義を當國一般社會に及ぼし、諸氏は其の實行者であつて、同時に其の國民外交をして、尚ほ流弊ならぬ、實地家であるからである。

▲和帝三郎氏、ボリビヤのラパスの小林商店、食料品、全氏は、廿九日、着、五、本、亭、港、在

▲バイヤブランカカ、東京の主人、鶴崎氏は、商用にて、未、貝、原、七、宅、宅、滞、在、中。

明日の野球戦

本紙別項記載のキャンヤ不慮の件は、本号メ切前、ビ、ナ、ン、ヤ、の、カ、ン、ヤ、と、決、定、し、た、る、由、野、球、部、より、通、知、あ、り、た、れ、ば、右、確、む。

明日の試合は、ビ、軍、が、ヌ、フ、ト、軍、に、勝、つ、た、る、勢、を、以、つ、て、當、五、軍、に、對、す、る、雪、辱、戦、に、て、全、ク、ア、に、て、は、野、球、部、の、傳、の、た、め、地、和、名、の、ま、に、招、待、休、息、し、大、統、領、に、も、場、場、を、乞、ふ、た、る、由、益、し、亞、國、野、球、史、を、飾、る、可、三、大、會、戦、本、れ、は、古、今、味、曾、有、の、觀、客、を、見、る、可、く、邦、人、諸、の、熱、援、を、希、む、日、軍、日、選、手、及、び、ハ、ッ、タ、ー、順、は、大、要、允、の、如、し。

尾内月、嶺、崎、岡、村、方、川、野、井、井、團、梅、竹、入、永、岩、淺、中、緒、平、水、藤、白、小、C、F、P、P、B、I、B、B、B、L、F、R、F、補、缺

Academia de Bailes modernos  
Calle Suipacha 347  
Director y Profesor  
P. Antonini

# 故丸井三次郎氏 五周年忌執行

兼て本社の報道せる故丸井  
三次郎氏五周年忌追悼の  
企ては江湖の賛同に依り  
豫定の寄附額を得て  
墓地存続も無事了了し  
去る廿五日には故起の知友二十  
有余名々カリタに参集  
して故人の墓前に花輪  
其他の供物と手向け松葉  
貞一師の讀經に次ぎ  
同の参拝ありて、とも  
やからば墓室の式と葬行  
せり。式終つて後一同はチヤ  
カリタ前のカエ店に休憩  
の後正午散會と告げた

- 故丸井三次郎氏  
五周年忌寄附者名
- 一金拾ペソ 佐伯亥久二
  - 拾ペソ 泊哲男
  - 二ペソ 小林代次郎
  - 二ペソ 大西佐一郎
  - 二ペソ 仲井周宗昌
  - 二ペソ M.R. 生
  - 二ペソ 諸橋宏
  - 五ペソ 田中耕次郎

- 一金ニペソ 坪田静仁
- ニペソ 吉橋好太郎
- ニペソ 宮崎八郎
- ニペソ 大関昌之佐
- 五ペソ 石井田太郎
- 五ペソ 園田一
- 五ペソ 北川
- 五ペソ 五味久
- 拾ペソ 横濱健吉
- 三ペソ 有水藤
- 三ペソ 金沢清
- 五ペソ 池田誠造
- 一金壹ペソ宛 兒玉貞次、全是一、全要、全イヘ子、田崎周作、平良孫次郎、浦田豊次郎、天野良信、後藤三郎、久慈忠、杉原隆治、柴原貞太郎、田中乙吉、松田五郎、藤井精四郎、波谷源助、兒王マルチン、榛葉賛雄、緒方美雄、北島覚逸、山元栄治、田川清、右田納助、大垣俊雄、宮村力蔵、水野勉、鈴木キ一郎、森川典十郎、廣瀬寛治、合計金百四十七ペソ也

支出と為りまいた。  
支出  
一金五十ペソ 墓地存続代  
二 参十ペソ 花輪代  
一 六十七ペソ 展墓諸費  
用并ニ茶菓、謝禮、及び  
紀念写真頒布諸費用  
大正五年一月廿六日發起人

## 墓参の記

誠意込情導僚友  
泣涕捧花祭亡靈  
晨友故丸井次郎君の五  
周年忌を営むので早起  
浴して心身を清め自動  
車を飛ばしてチヤカリタ墓  
地門前に着せは朝の八  
時。門を介して樹林を穿  
兼木の中を一直線に進む  
事、数町先折れ右に曲る  
再度一本の樟樹の下に  
白い角石に墨、黒々と印  
字の刻まれたるを見る。是  
れ五年前黄泉の客と消  
え、故丸井三次郎君の靈碑  
である。禽鳥を絶つ樹林寂  
の墓前に降り水野氏故人の嗜好  
物にあつたカニヤシ酒本を供へ續  
いて各自は折々の花束にて墓前  
に大花山と尊き一同墓前を踏  
型に取らるるや横濱君目會者  
して一場の挨拶と述べられ展墓  
の式に入つた。

**"TACASAGO"**  
TACUARI, 1126 (J.P.C.)

御下泊  
高砂  
月定御膳  
致し外

先づ松葉師は合掌奉拜の後經  
書と經をか讀經せらるるや嚴  
肅の氣多かりに満たされ参拜者  
一同感佩し平一心に陳院を念  
口は念佛と録へ七聖の為の等  
く冥福を祈つた。經了つて各自  
焚香し、松田佐藤雨氏は紀念攝  
影をとり式を終りたるは十一時  
あつた。  
(G・A 生)

長野西園自無屋 落舟來千古  
墓前地無限 魂靈歸命佳  
秀才謝命 遺骸 手載尚知行路難  
懷古情然 杖履 共向墓地夏猶寒  
三詩と吟川原徘徊する事小時は  
とて台の自働車に火先輪を積  
大関浦田右田佐藤の諸氏同來し未  
もなる。共に君が安住地に到れば右  
方の花壇に東の花は添えて故人の  
親友高桑氏の名刺があらつた。是時  
刻の早きと見て再び門前の兼合地  
引き進めば、遊谷、田中、松本、日  
高、有木、泊、岡田、古味、松田、五郎水  
野、榛葉、横濱、佐伯、全次、北川  
論争が手は、香花を掲げ、  
論争が手は、定刻九時が近かつたので  
一同墓地に到れば松葉師、池  
田の両氏時鐘と情を告げられた格  
に於て、カニヤシ酒本の遺病を以て武  
天野春吉氏長逝。おまじ、三リタル  
に於てカニヤシ酒本の遺病を以て武  
雨親方にて養生中の処、病を以て去  
る廿六日午前土時逝去り、葬儀は  
廿七日カニヤシ酒本にて執行せらるる。

運動界

テニス

日本庭球倶楽部に於ては...

野球

對米試合の印象

對米試合の不振の後を...

日軍に比し一日の長有り個人の...

強打者揃いの敵軍に對しての此...

打者と思はれぬ三西の諸君が打...

法の研究も大に必要である...

去る日曜日ヤクルトとアルシナのカ...

日軍唯一の投手として健闘を...

打法に就ては先日入月投手可...

同時スチールやスライディング...

此の意気を以て吾が軍に當る...

敵の猛打防く為め最初から...

打者と思はれぬ三西の諸君が打...

同時スチールやスライディング...

此の意気を以て吾が軍に當る...

責有るに非ず味方の内外野...

打者と思はれぬ三西の諸君が打...

同時スチールやスライディング...

此の意気を以て吾が軍に當る...

Table with 10 columns: 打安得三補失, 打教振振振振振, 打教振振振振振, 打教振振振振振, 打教振振振振振, 打教振振振振振, 打教振振振振振, 打教振振振振振, 打教振振振振振, 打教振振振振振

明日の野球試合...

日軍對ヒムナシア...

去る日曜日ヤクルトとアルシナのカ...

此の意気を以て吾が軍に當る...









